

## 多くのものを失い、学び、わたしたちは進んできた

第1回水戸バー・バル・パールが始まったのは2011年11月。

遡ること3ヵ月、カンカン照りの夏の日には10数名の仲間が集まった。

あの地震の日から五ヵ月あまり、至る所に傷跡が残る水戸の街を、そしてこの街で営む人たちを元気づける取り組みが出来ないものかと各人の想いが「バルイベントを開催する」というひとつの方向に定まったのがこの日だった。

初めての開催に向けて試行錯誤を繰り返し、なんとかこぎつけた11月11日。前日の天気予報は雨、不安な気持ちで当日を迎えた人は少なくはなかった。しとしと雨が降り続く中、われわれの不安をよそに、通りにはチケットとガイドマップを持つ人たちが溢れ、街なかには賑やかな笑い声に包まれた。

時は流れて2016年、春。

5年の歳月が流れた今、節目の回を迎えるわれわれに出来ること、それは「自粛」ではないことは言うまでもない。

毎回必ず参加してくれる310bbbファンの人たち、水戸の街を「楽しい」と言ってくれる人たち、そして参加し続けてくれる飲食店に支えられてきたこのイベントに、10回目の夜が訪れる。今こそ「復興」の喜びを噛みしめて、乾杯。

